

## 1. はじめに

金沢工業大学（KIT）の派遣留学生として、私は6月からロチェスター工科大学（RIT）の English language Center（ELC）に通い、英語の勉強をしている。8月の終わりに秋学期が始まり、新入生勧誘や寮での交流が甚だしくなってきた。今回は、夏学期および秋学期はじめの勉強や生活面に関して報告する。



図1. 静かな頃の通学路

## 2. 勉強面

### 2.1 夏学期

夏学期は、通常 RIT は夏休みに入っているため、ELC で英語の勉強をしていた。ELC では、個々の英語のレベルに合わせて、クラスが決められる。クラス分けのために、学期のはじめに英語の試験を行う。結果として、私は High Intermediate Class に振り分けられた。私は夏学期の間、以下の3つの授業を履修した。

- High Intermediate Language Analysis& Accuracy
- High Intermediate Speaking& Listening
- High Intermediate Writing& Reading

High Intermediate Language Analysis& Accuracy では、スピーキング、リーディングやライティングを通して、英語の文法について学んだ。High Intermediate Speaking& Listening では、様々な活動を通して、リスニング力を鍛えることができた。また、プレゼンテーションを作成し発表することで、どのような順序で話を進めると理解しやすくなるか、ということも学んだ。High Intermediate Writing& Reading では、多くのエッセイを読んだり、エッセイを書いたりし、文章の構成について学んだ。

### 2.2 秋学期

秋学期は、夏学期から引き続き ELC で Advanced Class の授業を受けることになる。さらに Advanced Class からは、大学の授業を受けることができるようになるため、大学の授業を含め、以下5つの授業を履修する。

- Advanced Language Analysis& Accuracy
- Advanced Speaking& Listening
- Advanced Writing& Reading
- Academic English- Orientation
- Manufacturing Processes

High Intermediate から Advanced に上がったため、授業の進度は速く、宿題は時間がかかるようにな

ってきた。しかし、Language Analysis& Accuracy, Speaking& Listening, Writing& Reading に関しては、夏から継続して学んでいるため、内容は難しくなっているものの、理解は追いついているため、夏の成果が感じらる。新たに加わった ELC の Academic English- Orientation というクラスでは、アメリカの生活や RIT での生活を知ることができる。内容は難しくないが、自分の意見を説明できるようになる必要がある授業だ。

Manufacturing Processes とは、秋学期から履修しはじめた大学の授業である。このクラスでは、パーツの製造に関して、様々なプロセスを学ぶことができる。クラスの先生の話す速度は、ELC の先生の話す速度よりも圧倒的に速く、学生の話し方も速いため、教科書がなければ、授業についていけない状況だ。幸い、興味のある分野で、ところどころ把握できる箇所があるため、授業自体は楽しく参加している。しかし、宿題はどの科目よりも大変で、時間がかかっている。

### 3. 生活面

#### 3.1 夏学期

私は運動することが嫌いだ。しかし RIT の学食での食事の量を見て、運動しなければ太ると思い、毎週ジムに通うことにした。RIT には大きなジムがあり、マシンを使ったトレーニング、体育館でのスポーツや水泳ができる。はじめはバドミントンを毎週続けようと思い、最初の週にバドミントンをしに行ったが、バドミントンをした日から全体的に筋肉痛になったため、バドミントンを継続することは諦めた。そこで、ランニングマシンを利用して、脂肪燃焼と体力作りを目指した。しかし今はジムに行っていない。

#### 3.2 秋学期

##### 3.2.1 部活動

授業日は夜遅くまで宿題をしているため、その反動で休日は寝ていることが多い。しかし、RIT FIRST という Robotics Club に所属したことにより、土曜日の午後は活動しに行っている。十数人から成るチームで、子供たちが一緒に遊べるロボットの製作や、日本の NHK ロボットコンテストのような大会に出場するためのロボットを製作している。人数は少ないが、情報共有や意見交換が頻繁に行われているため、出てくるアイデアがとても面白い。大学での授業同様、はじめは何に関して話し合っているのか理解できなかったが、現在少しずつロボット製作に関する単語が聞き取れるようになってきた。発言はまだできないため、今後は積極的に発言することができるよう努めようと思う。



図2. 活動風景

### 3.2.2 International Conversation Partner Program

ELC の学生は、英語の勉強をするためにアメリカに来た学生だけだ。そのため ELC では英語を母国語とする人たちとのコミュニケーションをとることが難しい。そこで International Conversation Partner Program に参加することにした。このプログラムは、毎週最低 1 時間、Native English Speaker の学生と会話をすることにより、留学生の英語力向上を目指している。私には 2 人のパートナーが振り分けられたため、週 2 時間は英会話の実践することができる。このプログラムの本格的な始動は 10 月からなので、来月がとても楽しみだ。

## 4 おわりに

アメリカに来てすぐに花粉症になってしまい、病院に行くまでの数週間、喉のかゆみに耐えるのは大変だった。アメリカに来たばかりでうまく言葉にすることができず、病院に行くのはとても不安だったが、たくさんの方が手助けをしてくれて、ようやく病院に行くことができた。

はじめの頃は友達と 2 人きりで話すのが大変でグループを好んでいたが、4 ヶ月たち、最近では 2 人きりでも会話を続けられるようになってきており、英語力が少しは向上したかと思う。これを励みに、さらに英語力の向上を目指したい。

以上で 9 月分の月例報告を終了する。